

名前：

新聞や雑誌といふ、従来の紙メディアのインフラはインターネットなど、電子メディアへの情報発信の形態が変わることはいくつかのメリットを生むだろう。第一に印刷や配達にかかる経費や時間が大幅に節約される点がある。ネット配信では送り手側の手間はかなり減少するだろう。二つ目は紙資源の保全だ。紙資源の保全は森林保護につながる。三つ目は情報の「エグゼード」と視聴覚的な見やすさ、読みやすさが向上することだ。ネット配信で情報を送る場合と対面の町に送るのも地球の裏側まで送るのにもその時間差はほとんどない。いつでもどこでも購読者はリアルタイムの情報で得られる。また「紙面の都合上」という制約がない分より多くの、高精細な画像または動画といった新しいコンテンツを簡単に配信することが出来る。一方紙メディアの衰退、電子メディアへの切り換えに伴って不都合が生じるケースもあるだろう。例えば紙メディアは持ち運びが自

由であるが、電子メディアになることで外出先でインターネット確認するに現時点では携帯電話が主要な手段になるだろう。しかし携帯電話は画面も小さいパソコンと聞いて読む新聞・雑誌と比べて読みやすいとは言えない。今後技術の発達によって持ち運びやすい電子表示機器も普及するかもしれないが、現在の紙メディアに慣れた人にとっては「みにくいから」ではない。手にとって読む楽しみ、ページをめくる楽しさといったファジカルな行為に訴える受容もあるだろう。自分が思うにインターネットなどの情報は内容が充実しているのはもちろん、その入手容易さ、誰でも手軽に読むということが求められると思う。高価な機器を買わなければ、難しい操作を覚えなければ情報にアクセスできないというのは困る。ネット配信において送り手側の負担の減少だけでなく、受け手側の負担が減少するよう努力のなかでその普及が見込まれるべきだと思う。